



↑講師から指導を受けて演奏に挑戦する生徒

学校巡回バイオリン体験教室 音楽の楽しさにふれる

2月6日と7日の2日間、町内の小中学校で、バイオリン体験教室がありました。

今回は長島中学校、平尾中学校、獅子島小中学校で行われ、県内各地で体験教室を開催している「バイオリンひまわりプロジェクト」の4人の講師が訪れました。

長島中学校（大迫修校長・84人）では、1年生25人が参加。初めて触れるバイオリンに苦戦の生徒たちでしたが、弦の押さえ方や弓の扱い方など、講師から手ほどきを受けると、徐々にきれいな音が出るようになりました。

瀬ノ口倅輝さんは「身近にない楽器だが、実際に弾くことで興味を持てた」と笑顔で話しました。

各中学校で立志式 目標掲げ決意新た

2月上旬、町内の各中学校で2年生を対象に立志式がありました。

平尾中学校（屋田光章校長・31人）では3日、保護者も見守る中、生徒13人が将来への志と決意を発表。教壇の前で、一人ずつ色紙に書いた立志の決意を表す漢字を読み上げ、実現へ向けて取り組む目標を掲げました。

このほか、同校卒業生からの講話があり、生徒らは聴き入っていました。

山下隆之介さんは「読書する習慣を身に付けて、将来に役立てたい」と話しました。



↑将来への決意を宣誓する山下さん



↑川添町長に苗木を手渡す吉井代表（写真左から2人目）

NPO 法人が桜の苗木を寄贈 景観づくりを応援

2月4日、NPO 法人「How To 21 Club」（出水市）が本町へ桜の苗木を寄贈しました。

同法人は環境問題に関する活動を展開しており、この一環として、町内の天ぷら油の回収と再利用をしています。今回は活動の協力に対するお礼として、町への寄贈となりました。

吉井秀之理事長は「長年町民総出で取り組む長島の景観づくりに感動している。苗木も役立ててほしい」と話しました。

寄贈された桜はヒマラヤザクラ1本とイズノオドリコ2本で、行人岳線の沿道に植栽されました。